31









# Landscape Gardening
# 造園

## より自然に近い景観へ癒しを追及するクリエイター

樹木や石に関する深い知識、空間構成力やデザインセンスから、それらを表現するための施工技術まで、さまざまな要素を取り入れた「造園」。石積み（小端積み）、敷石、乱貼り、小舗石敷き、園路、垣根の施工、樹木や季節の草花の植栽、芝の植付けなど2日間かけて技を競い合います。造園は、庭づくりはもとより、公園緑地や街並みを計画し、快適な住環境をつくることも重要な仕事です。造園作業は、設計、庭の下準備、石組や植栽、細部の仕上げなど、見る人が心和む、より自然に近い景観になるように工夫を凝らさなければなりません。



＜2025年大会 競技風景＞

### 競技職種と生活との関わり

庭づくりに携わる造園技能士。住宅の庭だけでなく、公園や街路樹、学校、工場の緑化まで活躍の場は幅広くあります。造園技能士の資格を持つ庭師のほとんどは造園会社に勤務し、街のみどり豊かな環境や身近な暮らしの造園緑化に従事しています。樹木や草花といった植物材料や石などの自然素材を扱うのも庭師の特徴です。造園は自然を相手にすることが大きな魅力で、小さな大自然を演出する仕事です。

### 生きている樹木を扱う感性と応用力、技能の熟練度がポイント！

技の正確さ、スピードとともに、応用力も求められ、選手の総合的な技能の熟練度がポイントとなります。樹木という生き物を扱い、花が咲き、実がなり、四季折々によって景観が変わる自然を、自分の技と感性で創り上げます。石積みが自然石の場合は、ひとつとして同じ形状のものがなく、どう配置し、積んでいくか、材料を見極め、手早く、図面どおりに仕上げる高度な技能が必要となります。また、庭を彩る草花の配色もみどころのひとつです。



**木暮 幸一** 主査　一般社団法人日本造園組合連合会

### 前回大会金メダリストからメッセージ！

［所属：株式会社今田作庭園］

**門野 史奈 さん**

諦めずに
何があっても
喰らい付いて
頑張るっていることが
一番大事だと
思います！



前回大会
金メダリスト
インタビュー！